

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***2020. 9. 16***☆

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

妻の老後も考える

発行者：牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***通算第 412 号***☆

<第 412 号の目次>

■ 今週のテーマ

妻の老後も考える

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、

今週のテーマからはじめます。

*:**

■ 今週のテーマ

妻の老後も考える

*:**

男性 81.41 歳、女性 87.45 歳、
先日、7 月 31 日に厚生労働省が発表した、

2019年の日本の平均寿命です。
前年に比べ、
それぞれ0.16歳、0.13歳延びています。

例年通り
女性の方が男性より約6年間、
長生きするということです。

そこで、今回はこの6年間の生活に、
どのような準備をしておけば良いのか、
考えてみます。

男女の寿命の差が意味すること

同級生の夫婦の場合、
単純に、妻が6年間長生きをします。

夫の方が歳上ならば、
妻との年齢差プラス6年間のあいだ、
妻は、独りで生活をするようになるかもしれません。

問題は、
その妻が、独りで生活をするであろう期間の
準備が出来ているかです。

特に、生活資金の面で、
その時なってから、
急に、慌てて準備はできませんので、
あらかじめ準備をしておく必要があります。

夫婦生涯の家計収支と貯蓄の推移を確認しておく

その準備をするためには、

まず、ご夫婦の現在の家計収支を調べて、
そして、夫婦の生涯の家計収支を、
シミュレーションしてみることです。

あわせて、貯蓄の推移も見ていくことも必要です。

家計収支で、
現役中と老後で変わるところは、

収入は、
老後の生活で年金が主な収入となれば、
現役中よりは減ります。

支出は、
老後の生活では、
食費などは減るかもしれませんが、
医療や介護にかかる費用が、
現役中より通常増える傾向です。

従って、支出額としては、
現役中と同額、
または年間で1割程度、
増やしても良いかもしれません。

そして、ここで算出した収支と貯蓄額を、
夫婦それぞれ、
男女の平均寿命に5年間加えた年齢まで計算し、
どのように推移していくのか、
確認してみてください。

そして、特に、
妻が独りで生活をする年齢からの数値に、
注目してください。

妻が独りで生活する準備

夫が亡くなったあと、
妻の年金は、
妻の老齢基礎（国民）年金と、
夫が厚生年金に加入していれば、
遺族厚生年金がもらえます。

ただし、妻自身の老齢厚生年金がもらえる場合は、
同じ「厚生」と名前の付く年金はもらえません。

従って、妻自身が年金を受給する年齢になり、
妻自身が、厚生年金がもらえるのであれば、

妻が、夫の遺族厚生年金か、
自身の老齢厚生年金か、
どちらかを選び、

それに加えて、
妻自身の老齢基礎（国民）年金がもらえます。

なお、夫の遺族厚生年金の受給額は、
日本年金機構に問い合わせれば、
おおよその金額は教えてもらえます。

その他の夫亡き後の収入として、
夫を被保険者とした死亡保険金、
民間の保険商品である個人年金や、
金融商品などでの運用益などが、
ある方もいるでしょう。

支出は、
食費などは一人分になり減るでしょう。

しかし、電気代などの水道光熱費は、
半分になることはないようで、

家計全体の支出は、
夫婦で生活の7から8割くらいに、
みておいて良いでしょう。

それに加えて、
自宅の改修など、
多額の費用が必要なことは、
夫婦が健在の年齢で、

介護にかかるかもしれない費用は、
夫婦別々に、
準備（計上）しておく方が良いでしょう。

家計収支の推移をみて判断すること

家計収支を
平均寿命プラス5歳先まで計算した結果、

生涯、家計収支もプラスで、

貯蓄も「0円」にならないようであれば、

夫婦ともに、
また、妻が独りになった後の生活も
資金的には問題はないようです。

計算をしている段階で、
家計収支がマイナスになる期間や
貯蓄が底をつくようでは、

その原因を探り、
今から改善することが必要です。

特に、妻が独りで生活を想定する年齢では、

妻の老後の準備は完璧か！？

夫が亡くなった後、
夫の年金収入が大幅に減るなど、
家計収入が減ることが予想されるときなどは、

あらかじめ、
妻の生活資金用の貯蓄をしておくなど、

その時になつては、
十分な対応は取れませんので、
今から準備をしておくことが必要でしょう。

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

夫婦の老後生活の準備といっしょに、

もし、妻が独りで生活をするときの準備も

現役中からしておくことが大切です！

■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 17 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員（R）」は、どこまでも行きます。

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

*:

■編集後記

*:

人の寿命のことはわかりません。

しかし、平均寿命の統計からみても、

妻が、独りで生活することは多いようです。

老後生活を考える時は、
ここまで考えておかなくては！

【人生の添乗員（R）】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員（R）】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野 FP 事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
